

**第15単元 帯グラフと円グラフ(A)**

問題番号	配点	解 答 (許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
<b>1</b>	①	10	[知技]帯グラフや円グラフにデータを表現したり、全体と部分、部分と部分の関係を読み取ったりすることができる。	①は合計が100%になることを想起させる。 ②は、各グラフの構造をていねいにおさえながら指導する。 ③は比較対象を明らかにしながら考えさせる。
	②	40 (各20)		
	③	10		
	④	10		
<b>2</b>	①	15	[知技]複数の帯グラフから基礎的な情報を正確に読み取ることができる。	年度と内訳の2つの要素に着目させ、ていねいに読み取らせる。
	②	15		

**第15単元 帯グラフと円グラフ(B)**

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
<b>1</b>	〈みさき〉 ○ 〈ひろし〉 (例)野球が好きな人数は、北小学校が24人、南小学校が22人で、北小学校の方が多から。 ※人数と割合に着目し、北小学校の方が野球が好きな人数が多いことを正しく説明していれば正答。	[思判表]帯グラフから全体と部分の関係を読み取ったり、人数と割合に着目して正しい判断をしたりしている。	ひろしの考えについて、野球が好きな人の割合は南小学校の方が高いが、人数は全体の数を含めて考えなければならないことをおさえる。実際に、それぞれの人数を求めさせながら理解させるとよい。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	2問	1問	0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。